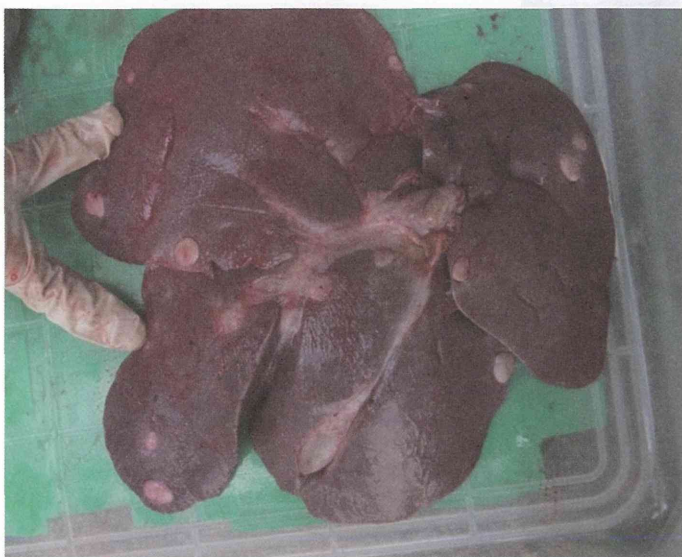


# イノシシ 肝臓

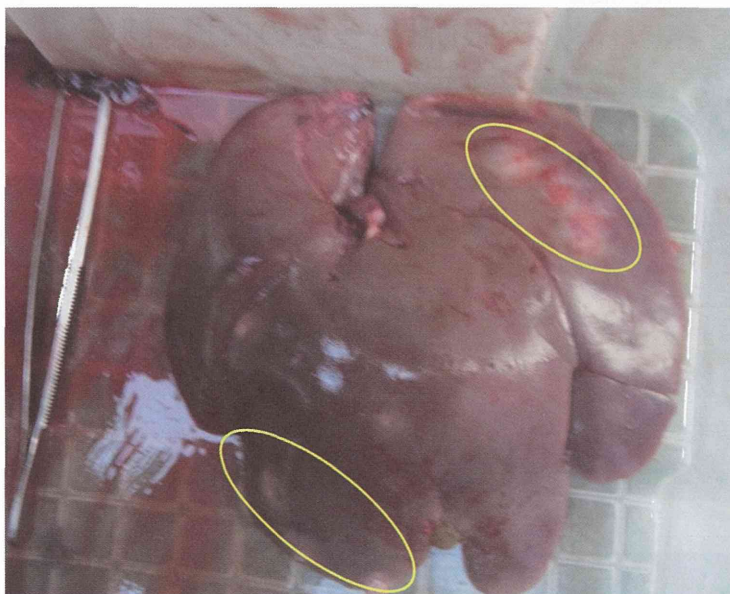


メス  
肉眼所見：多数の白斑、肝蛭の寄生。

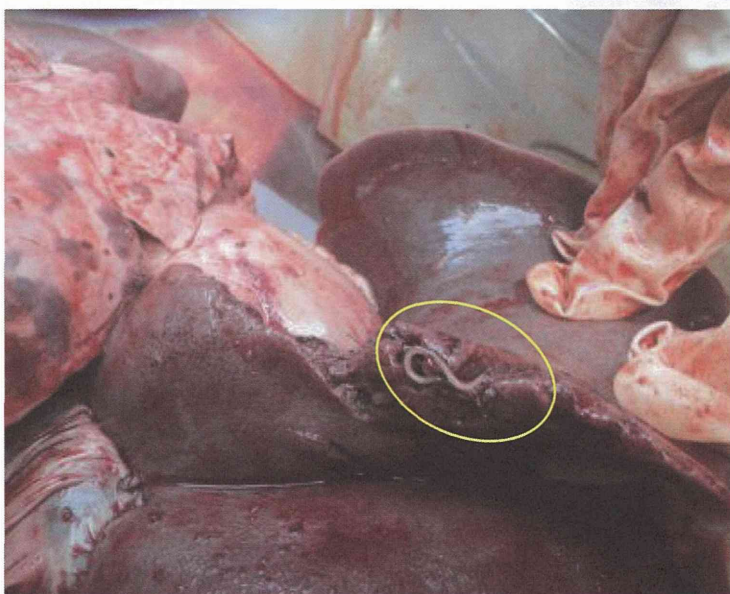


対応：内臓廃棄

# イノシシ 肝臓



メス、13kg  
肉眼所見：白斑、肝蛭は確認されず。



オス、50kg  
肉眼所見：寄生虫検出。

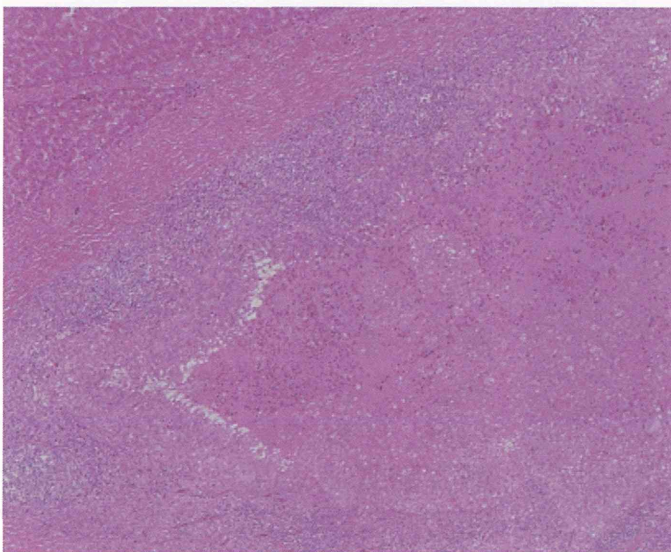
対応：内臓廃棄

# イノシシ 肝臓



メス、推定40kg  
肉眼所見：白斑。

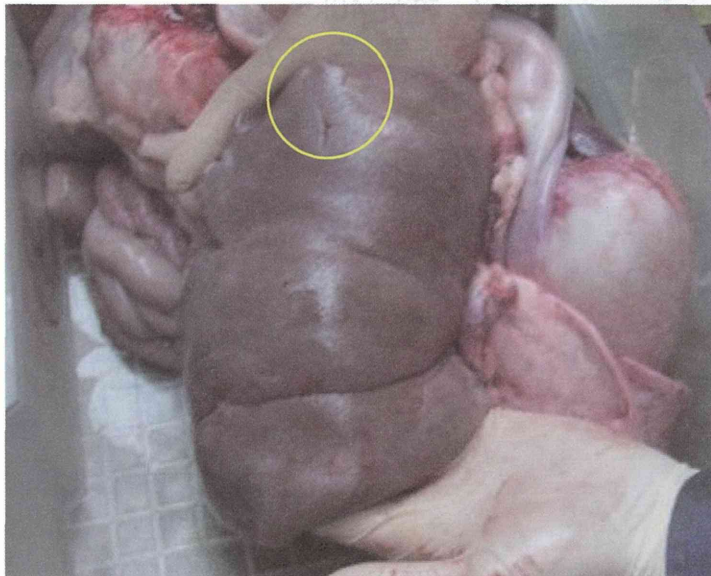
対応：内臓廃棄



同上  
組織所見

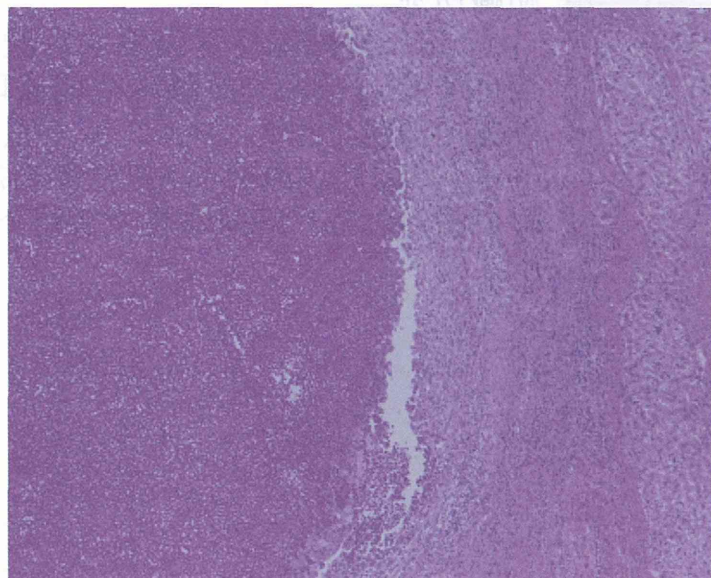
・中心部に好酸球性退廃物や好酸性液を貯留し、周囲を好酸球や組織球浸潤巣で被包化され、さらにリンパ濾胞やリンパ球浸潤巣伴う線維性結合組織で覆われた＜好酸球性肉芽腫＞形成。

# イノシシ 肝臓



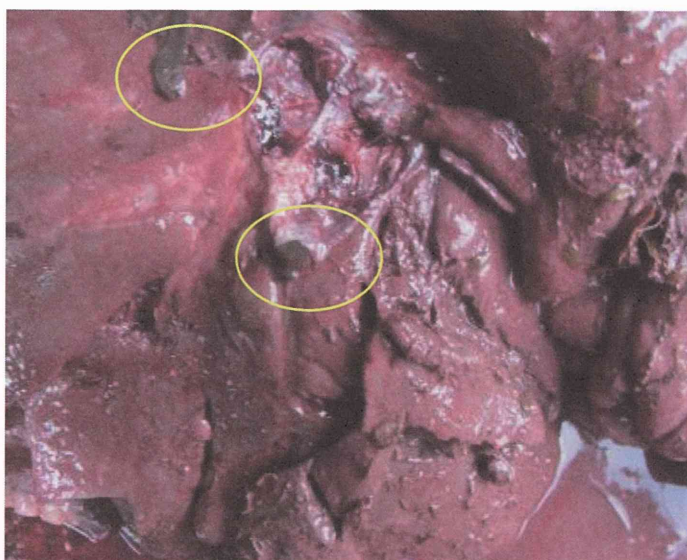
オス 32kg  
肉眼所見：白斑。

対応：内臓廃棄

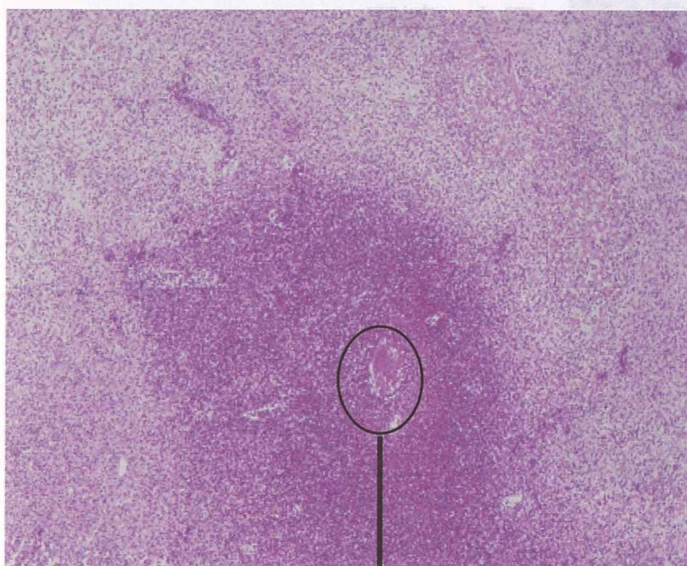


同上  
組織所見  
・中心部は好酸球性退廃物からなり、多核巨細胞や泡沫状マクロファージの浸潤も伴う＜好酸球性膿瘍＞形成。  
さらにその周囲に好酸球やリンパ球、形質細胞の浸潤と共に線維芽細胞も増生し、線維化は周囲の小葉間間質にまで波及している。

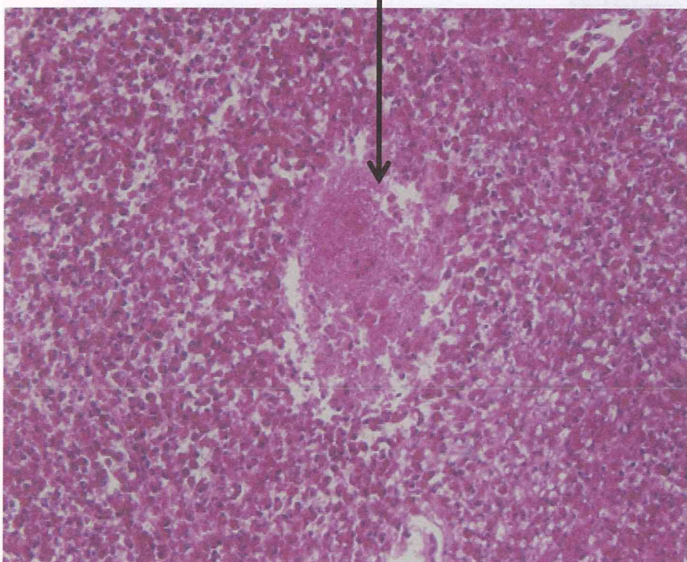
# イノシシ 肝臓



メス、38kg  
肉眼所見  
・肝臓表面に隆起した腫瘤。



組織所見  
・中心部に虫体(肝蛭)の残骸を含み、周囲を好酸球性退廃物で覆われた<好酸球性膿瘍>が散在。

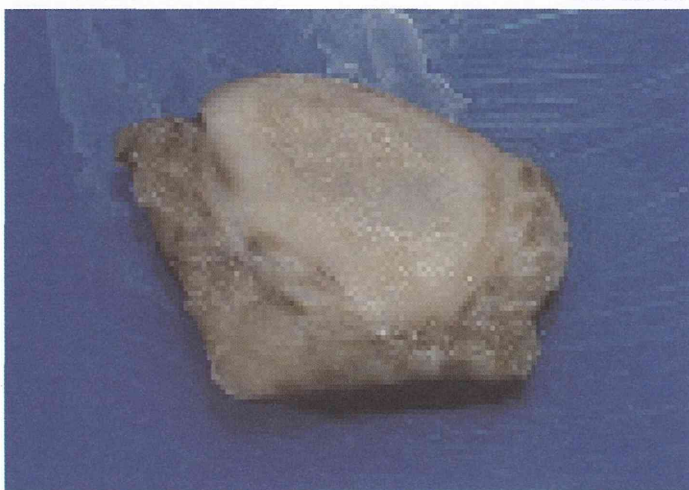


対応:内臓廃棄

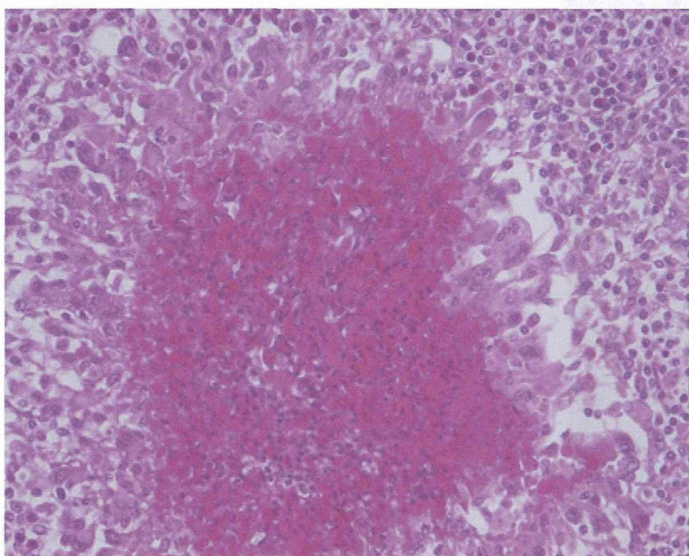
# イノシシ 肝臓



メス 49kg  
肉眼所見:小豆大病変。



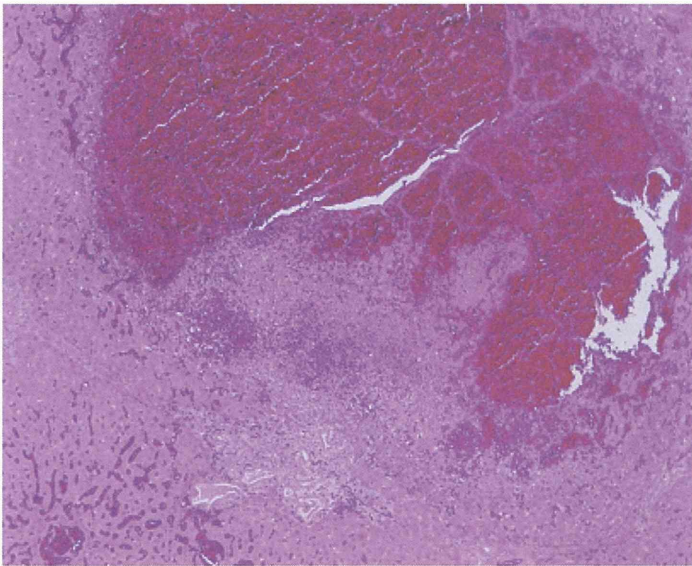
同上 断面



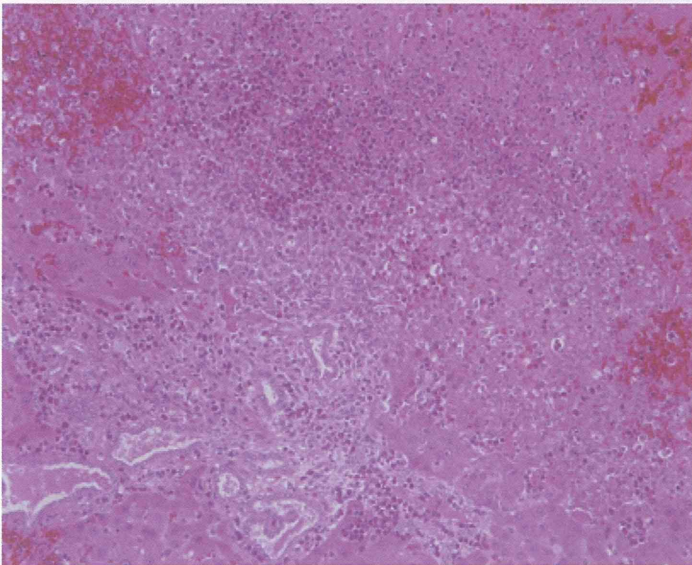
同上  
組織所見:小豆大病変は好酸球主体の膿瘍で、膿瘍内には好酸球性退廃物を中心として周囲を組織球で囲まれた好酸球性肉芽腫病変。

対応:内臓廃棄

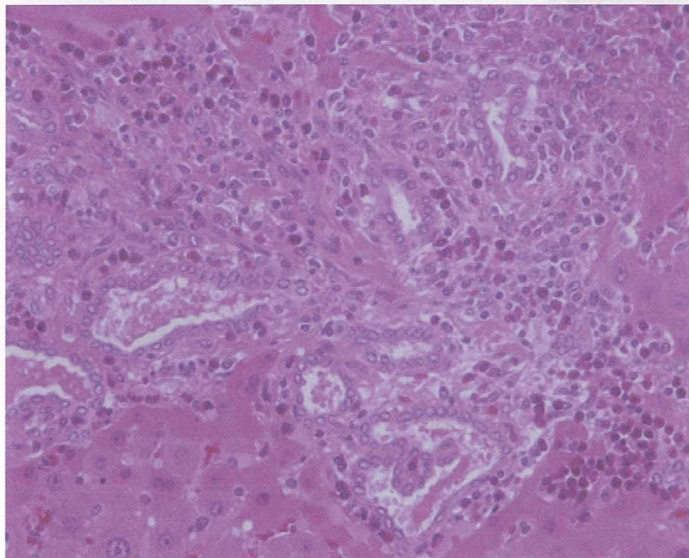
# イノシシ 肝臓



メス 44kg 5.8歳  
組織所見  
・肝小葉内に、フィブリン析出  
伴う巣状出血巣形成。

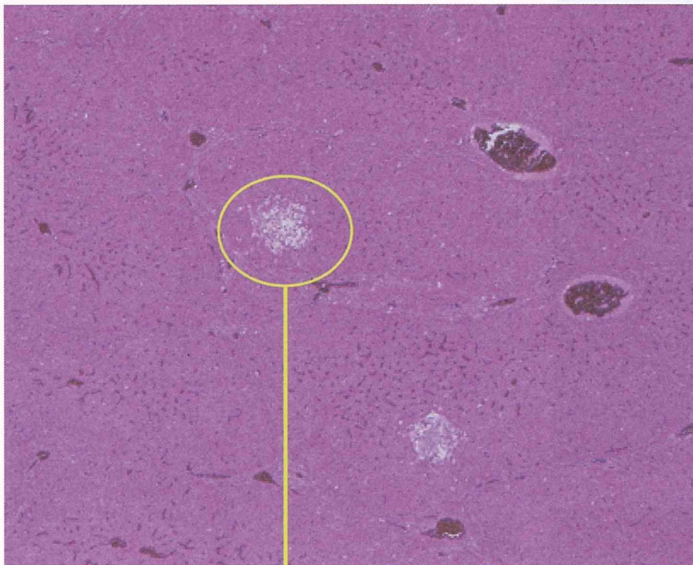


同上  
組織所見  
・出血巣周囲は好酸球とマクロ  
ファージ浸潤巣で覆われる。



同上  
組織所見  
・グリソン鞘領域でも好酸球浸潤し、  
細胆管増生伴う。

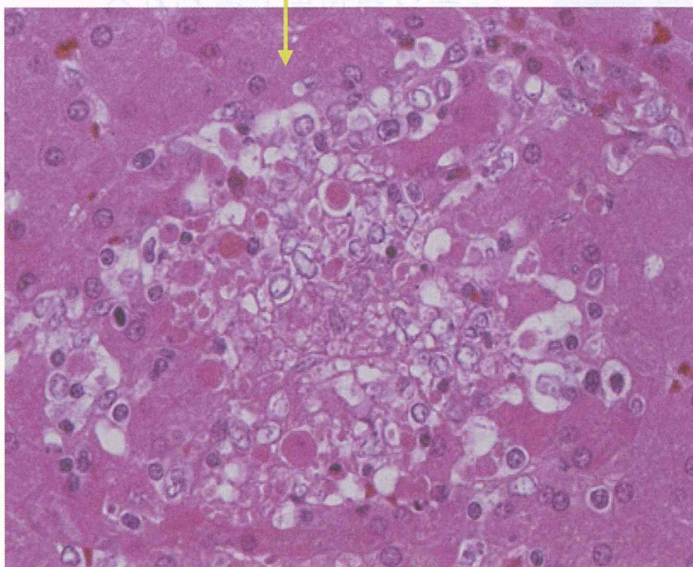
# イノシシ 肝臓



オス 6kg

組織所見

・複数の肝小葉内に、肝細胞の変性や壊死を伴った小肉芽腫が散見される。





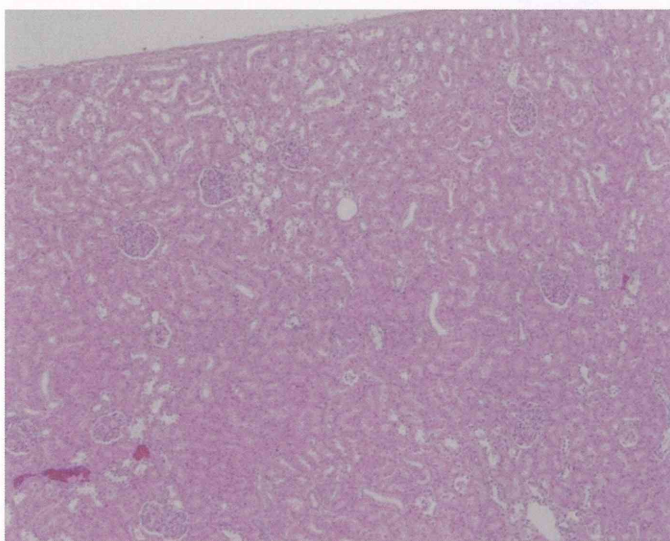
# イノシシ 腎臓



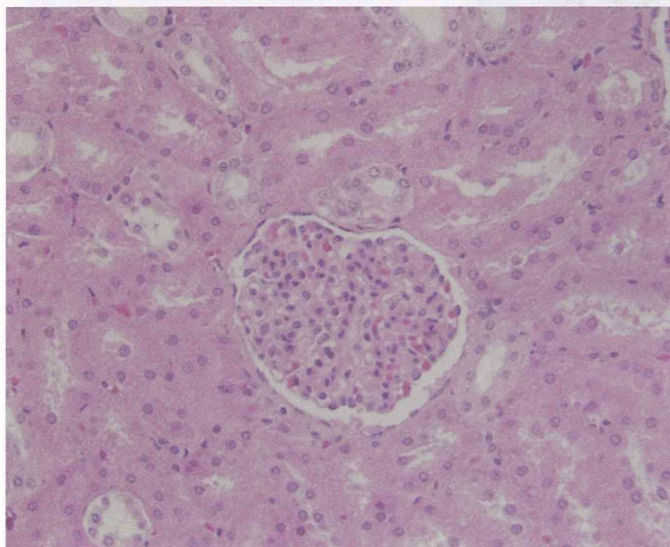
オス 推定25kg 肉眼所見: 著変なし。



断面: 著変なし。



同上  
組織所見: 著変なし。



## イノシシ 腎臓



メス 125kg  
肉眼所見: 著変なし。



メス 52kg  
肉眼所見: 著変なし。